

SIGNIS JAPAN ニュースレター

タリタ・クム！ 起きなさい！

発行：SIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会）

代表：千葉茂樹

発行所：〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-42

聖パウロ女子修道会内

TEL 03 - 3479 - 3941 E-mail : info@signis-japan.org

http://signis-japan.org/

主のご降誕おめでとうございます！

キリストの光が、私たちの闇を照らしてくださいますように。

タリタ・クム！ 16号（クリスマス号）をお届けします。



カトリック三河島教会

## よき知らせ

## パパ様との謁見

晴佐久昌英

10月23日にパパ様が謁見会場で私たちに直接、呼び掛けてくださったことは忘れられない体験になりました。

7万人の大観衆の中を白いオープンカーで、隅から隅までみんなに挨拶し、差し出される一人ひとりの子どもを抱き上げ、祝福して30分以上回ります。それから祭壇に上って、お祈りがあり、講話があって、祝福で終わりますが、先週は、2時間以上広場に残留して、人々とあいさつし、交わっていました。

彼の語り方は、本当に率直で魂に響きます。自然体で、親しく語りかけてくださいます。その日は、福音書から聖母マリアのエリサベト訪問の箇所が読まれ、講話されました。「聖母マリアは、おなかにイエス様を宿してエリザベトを訪問した。これこそ信仰の模範だ。私たちキリスト者がなすべきことは、イエスをもたらすことだ。教会は、自分をもたらすんじゃない、イエス・キリストをもたらす。すべての人に、イエス・キリストをもたらしてほしい。仮に、教会がイエスをもたらさないなら、そのとき、教会は死んだ教会になります。教会は、イエスの愛を、愛の業をもたらすのです！」とおっしゃいますと、みんな一斉に拍手したんです。

その後、顔を上げて「イエスの愛は、無償の愛です。私たちは、分かち合い、赦し、共に生きるイエスの愛をもたらしているのでしょうか。それとも、見返りを求める、条件付きの愛をもたらしているのでしょうか。利害のからんだ愛を、イエス様がお喜びになると思いませんか？」って問いかけました。すると「ノー！！」って叫んだのです。心が通い合うステキなやりとりでした。さらにその後、「私たちの小教区、共同体の人間関係は、どうなってますか？ みんな、お互いに兄弟姉妹として関わってますか？まさか、あなたたちはお互いに、悪口なんか言ってますよね？」とおっしゃると、みんなドツと笑ったんです。まさに自然体。イエス様も、そんな感じだったんじゃないでしょうか。

パパ様が身をもって示してくださる模範に、私たちも倣いたいと思います。

## ニュース

## いのフェスに参加しました

SIGNIS JAPAN が、2014年9月14日（土）、早稲田奉仕園スコットホールにて開催された、いのフェスに参加しました。お坊さん&amp;牧師さんのバンド演奏、宮台真司氏（社会学者）と晴佐久昌英神父（カトリック多摩教会主任司祭／シグニス顧問司祭）の対談、などなど、楽しい企画が満載のフェスタでした。

シグニスは、ポスター展示、書籍販売、晴佐久神父の天使の絵のTシャツ販売、聖書クイズのほか、カトリックの青年たちとのコラボ企画として、YOUCAT（青年向けに書かれたカトリック教会の要理書／カトリック中央協議会出版）の販売をしました。大人も若者も、初秋の一日を楽しみました。（泉）



▲宮台真司氏と晴佐久神父様の対談の様子

◀カトリックの青年たちのYOUCAT販売

## 第18回 教会とインターネットセミナー交流会が行われました。

11月9日横浜教区平塚教会で、第18回「教会とインターネット」セミナーが開催されました。神奈川第6地区宣教司牧委員会宣教部の要請に応じて、SIGNIS JAPAN が開催する運びになったものです。参加者は40名ほど。

まずSIGNIS JAPAN の山田千鶴さんが「オススメ教会ホームページ」を紹介、各参加者の自分の教会のホームページの紹介があり、休憩をはさんでフリートークがありました。「横浜教区教会ホームページ規約」についていくつもの意見が出された後「教会ホームページ活性化のための13のオススメ」が提示され「笑顔溢れる教会ホームページ」が話題となりました。とても活発なフリートークがあり、内容も充実していたと好評で、とくにローカルな教会の要請に応えることができたことをとても喜んでいきます。詳しい報告はSIGNIS Japan ホームページにあります。ごらんください。（土屋）

## インターネットセミナー交流会誘致の経緯

増沢忠

今年11月9日に神奈川県平塚教会でSIGNISのインターネットセミナーを開催していただきましたが、その経緯についてご紹介したいと思います。

神奈川県第6地区共同宣教司牧委員会の担当地区内には、茅ヶ崎、平塚、大磯、二宮、国府津、小田原、真鶴、秦野、箱根の9教会がありますが、HPのない教会や、ほとんど更新されていない教会もありました。そこで、私が所属する第6地区宣教部会の活動として、各教会HP担当者に情報交換の場を提供し、HPのない教会には設置のきっかけを作ることを目的に、昨年「第6地区教会HP担当者の集い」を国府津教会で開催しました。準備を進めるうちにSIGNISをインターネットで知るようになり、アドバイザー役としてメンバーの方にご参加いただきました。



おかげさまで、小田原、国府津にHPが新設、信者数が少なく開設が困難な箱根や真鶴も、小田原教会のHP内で紹介され、6地区全て網羅できました。

その後、2回目の会議開催の有無について各教会HP担当者にアンケートを実施しましたが、中に東京のSIGNISセミナーに参加すれば良い、との意見がありました。東京に全員が参加するのは無理があるので、湘南への招致をSIGNISにお願いしてみるようになりました。門を叩いてみよう、でしたが、快諾をいただけ今回の開催となりました。

今後は、SIGNISからアドバイスいただいた①信徒の信仰体験を掲載する。②地域との結びつきを進める、を各教会HPに反映していけるようサポートに努め、ホームページが更に豊かな交わりとなるよう、主のみ力を願いたいと思います。

(カトリック茅ヶ崎教会)

## お勧め映画紹介 『異国に生きる 日本の中のビルマ人』

鈴木 浩

優れたドキュメンタリー映画は観客の心に忘れることのできない「問いかけ」を残す。この作品もそうだ。祖国ビルマの民主化運動に関わったために軍事政権の弾圧を逃れて日本に亡命したビルマ人青年チョウさんの14年間の記録である。妻や家族を祖国に残し「異国」日本に暮らすチョウさんは「家族と会いたい」「祖国で暮したい」という思いと、祖国の民主化運動のためにその望郷の念を断たなくてはならないという思いの狭間で苦悩する。しかし、彼は日本での厳しい生活を選ぶ。「私は自分のためだけに生きることもできます。日本で働いてお金を貯めて帰国すればいいのです。でもそんな生き方はできない。私にとって大切なことは、他人の痛み、を感じ取ることです。」チョウさんのこの言葉にハッとする。自分の利益のためではなく、ビルマのため、ビルマで暮らす人々のために自分を犠牲にしてもかまわないという志の高さに心打たれる。「自分のためだけに生きるのはつまらない」というチョウさんの言葉が忘れられない。映画の中で在日ビルマ人たちが東日本大震災の被災地にボランティアに行く場面がある。失業中で自らも苦しい生活しているかれらが、「自分たちよりも困っている人がいるから」と炊き出しをする姿が強烈に胸に迫る。「自分が中心のあなたの生き方は今のままでいいのですか」容易には答えることのできない「問いかけ」が、この映画を観ることで心に刻まれる。チョウさん、そして仲間の在日ビルマ人たち。志の高い人々と出会う喜びをもたらす作品だ。(カトリック川越教会)



公式ホームページ  
<http://doi-toshikuni.net/j/ikoku/>

## 賛助会員になってください！

私たちSIGNIS JAPANの活動をサポートしてくれる賛助会員を募集しています。年に1度、賛助会員のための感謝のミサを東京地区で予定しています。詳細は賛助会員の皆さまにご連絡させていただきます。年会費は一口3000円。ご入会いただける方は、氏名、住所、連絡先を下記にお知らせください。年会費およびご寄付は、銀行口座または郵便振替口座にお振込をお願いいたします。

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 普通 1679019 SIGNIS JAPAN  
代表 千葉茂樹

郵便振替 口座番号 00100-0-594547 口座名称 SIGNIS JAPAN 代表者 千葉茂樹



2013年7月13日行われた感謝ミサ後の集合写真